



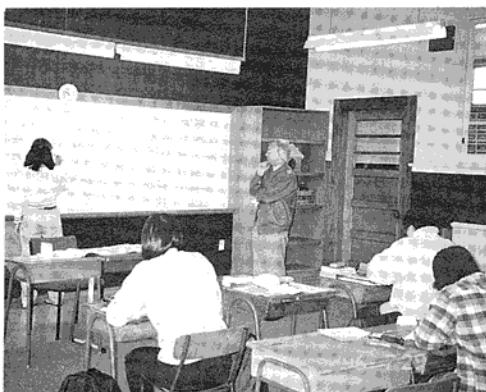
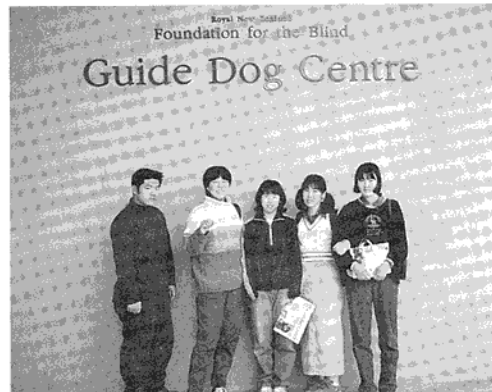
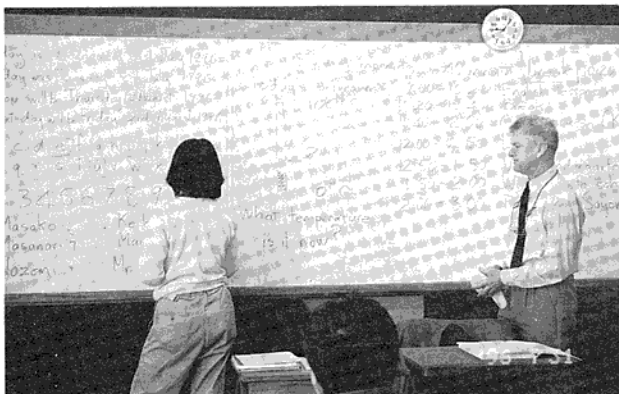
'96 729

かし、先生に活発に質問するなど、誰もが真剣に取り組まれました。午前の授業は英会話の他、ニュージールランドの歌の練習や調理実習など多彩で、研修生達も授業に飽きている暇は無かったと見えます。また、午後の施設見学では、「ワンツリーヒル」へのハイキング、盲導犬訓練センターや幼稚園等を訪問しました。また、木曜日には一日中オークランド市内を廻り、大学や博物館を見学し、ピクトリアマーケットでの食事や買物も楽しみました。

●毎日があつと言う間に過ぎ、ニュージールランド最後の夜が来ました。チューターコーディネート

イターのルイス先生と研修生達とが企画して、一週間お世話になったホストファミリーや学校の先生方をお招きしての「さよならパーティー」を開きました。研修生達は両国の歌を披露した他、手作りの福笑い・折り紙・紙風船・お手玉等、日本らしい遊び道具も用意していましたが、ニュージールランドの人達はとても珍しそうに興味を持って一緒に楽しんでいました。最後に校長先生から研修の終了証書と記念写真が贈られるなど、心に残るパーティーとなりました。

翌八月三日の早朝、お世話になった皆さんとの別れを惜しみながら、五人の研修生達は一週



間の思い出を胸にニュージールランドを後にしました。全日程九日間という短期間の研修でしたが、初めて訪れた土地と異文化の中で体験した研修生達の思い出は、いつまでも彼らの胸に残ることでしょう。(※研修生達の感想文は十月一日号で紹介いたします)

十月から 資源ゴミの分別収集が 始まります

私たち現代人は沢山の物と情報に囲まれて、たいへん便利な快適な生活を手に入れました。しかし、そうした生活を支える資源の多くは海外からの輸入に頼っており、しかも、資源そのものが近い将来に底をついてしまふと言われています。

一方、私たち現代人が廃棄するゴミは、焼却したり埋立地に埋めるかしていましたが、そうしたゴミの処理には莫大な経費が掛かるし、新たな処分場を作るのも難しくなっています。

これからは、私たち一人一人がこれ以上ゴミを増やさないと、リサイクルが可能なゴミは資源物として回収することを心がけ、ゴミを減らして行くことが必要です。それには、現在私たちが廃棄しているゴミの中から、資源物として再生利用できるものを分別して収集するのが有効な手段です。

ゴミを分別収集すると、単な

る廃棄ゴミの中から資源ゴミを確実に回収できるばかりでなく、清掃工場の焼却炉の寿命も伸び、ゴミの量が減ることからゴミ処理に必要な費用やエネルギーを節約できるなど、多くのメリットが生じます。

十月から、所野(霧降、小倉山地区を除く)・七里・野口・和泉・山久保・小来川をモデル地区にして、資源ゴミの分別収集が実施されます。対象となる資源ゴミは「古紙類」「ビン類」「布類」などです。詳しい内容は、十月一日号でお知らせします。

ゴミ収集についてのお問い合わせは、生活環境課美化衛生係(☎五四一〇一一)内線二四二)または、クリーンセンター(☎五四一〇四二)へ。